

「保育所のあり方を考える会」で出た質問・意見（要約）

幼児教育課
☎ 0859 - 54 - 5219

大山会場 8月27日（水）参加者 22人

- 統合して大人数になり目が行き届かなくなっては困る。
- 幼稚園の設置も一緒に検討してほしい。
- 保育所だけでなく子育て支援センターが近くにほしい。
- 保育所に預けずに家で子どもを見ている人の声も聞いてほしい。
- 送迎の負担が増えることについて、園児バスも考えてほしい。
- 子どもたちのためにいい保育所になるのなら統合もよい。
- 人数が増えると人間関係が広がりたくましく育つとあるが、逆に大人数の中では人間関係が作りにくい子もいる。
- 中山地区は最終的に1園になると、小学校も1つなので人間関係が固定化するのではないか。
- 耐震性、安全性は問題ないか。
- 小中学校の統合も含め、大山町全体の子育ての体制を考えながら進めてほしい。
- 大山地区でも病後児保育をしてほしい。
- 看護師を配置してほしい。

名和会場 8月28日（木）参加者 37人

- 名和保育所が閉園予定のわけを、納得がいくように説明してほしい。
- 未満児の入所希望が増えているが、閉園するのなら受け入れ態勢を整えてからにしてほしい。
- 閉園した場合は、どこへ行くのか。希望を聞いてほしい。振り分け方の基準を示してほしい。
- 子どもの立場で考えると、子どもは人数が多いほうが楽しく、友達もできる。
- 保育所は地区で一つにしてはどうか。どうせならいいものを一つ建ててほしい。
- 耐震性、安全性は問題ないか。
- 保育士の労働環境もよくして、適正を備えた人を確保して、質の高い保育をしてほしい。
- 保育士の意見もしっかり聞いて進めてほしい。

中山会場 8月29日（金）参加者 29人

- 上中山保育所が閉園となれば、地域が寂しくなる。
- 上中山保育所にいる未満児が、下中山・逢坂保育所に入所できる態勢を整えてほしい。
- 送迎の負担が大きくなるので、園児バスを運行してほしい。
- 多人数で切磋琢磨するのがいいといわれるが、四六時中それが必要か。一人ひとりを大事にする保育をお願いする。
- 中山から町外への通勤時間を考えると不便。最初から1園にして条件をよくしてほしい。
- 子どもたちに今以上の保育をしていただけるのなら統合してもいい。
- 中山地区には子育て支援センターがない。
- 病後児保育もしてほしい。
- 耐震性、安全性は問題ないか。
- 上中山保育所の園児が、来年度から下中山保育所や逢坂保育所に入所希望して上中山保育所が存続できないということはないか。その場合には、保護者に説明をしてほしい。

町内10園の保育所のあり方を考える

8月27日から29日の3日間、「保育所のあり方を考える会」を町内3会場で開催しました。出席者は延べ88人。出席者の多くは保育所の保護者で一般の方の参加は少数でしたが、いろいろなご意見をいただきました。教育委員会では、今回のご意見も取り入れながら来年度以降の保育所のあり方を検討していきます。

今回いただいた主なご意見・質問（要旨）は次のとおりです。